

東京大学大学院情報理工学系研究科 知的情報処理英語プログラムについて

1. 概要

プログラムでは、本学が特に世界的な強みを持ち、精力的に教育研究活動を進めている知的情報処理の学術領域について、英語のみで受講できるプログラムを設定する。

- ・人工知能、データサイエンス、ビッグデータ
- ・サイバーセキュリティ、IoT
- ・ロボティクス、サイバネティクス、VR
- ・理論情報科学、先端アルゴリズム、スーパーコンピューティング

留学生にとっては、日本語の能力を必要とすることなく修了することができるカリキュラムを指し示す。日本人にとっては、英語を中心としたカリキュラムを受講し、留学生と交流し、国際性に富んだ学業経験を積んだ証しとなる。

2. 要件

- (1) 東京大学 情報理工学系研究科の修士課程または博士後期課程に属する学生であること。
- (2) 入学・進学後、所定の期日までに https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/epiip/index_e.shtml からプログラムに登録をすること。
- (3) 日本人の場合、参加学生は英語講義を履修し、留学生と交流し、海外派遣等で積極的に海外経験を踏み、国際性に富む学業経験を積む意欲があること。

3. カリキュラム

A (共通)：専門分野に関わらず情報理工学に必要な教科および研究。

B (基盤)：専門分野の背景となる理論や必要不可欠な基礎に習熟する教科。

C (コア)：専門分野の中心的トピックを学ぶ中核的教科。

D (発展)：コア科目をベースに知見を押し広げる発展的教科。

国際交流：日本人のみが対象。海外渡航や留学生交流行事への参加をポイント化。

各教程の具体的科目等は別紙に記載する。

4. 修了要件

研究科が定める各専攻各課程の修了要件に加え、以下の要件を満たす必要がある。

4. 1. 修士課程

A	研究倫理・修士特別研究	必修
	国際交流実績（日本人のみ）	5 ポイント以上
C		8 単位以上※
B~D	上記の C を含む。	14 単位以上※

※専門分野の特性で特段の必要がある場合、指定の単位以下の履修が認められる場合がある。所定の様式により申請し、認められることが必要である。

※別紙リストにない講義も、認定される場合がある。所定の様式により申請し、認められることが必要である。

4. 2. 博士後期課程

A	研究倫理・博士特別研究	必修※
	国際交流実績（日本人のみ）	15 ポイント以上

C～D		2 単位以上※
B～D	上記 C～D を含む	規定なし

※修士課程から本プログラムに在籍している場合でも、新たにこれらの単位を取得する必要がある。ただし、研究倫理を修士課程で受講済みの場合は免除する。

※専門分野の特性で特段の必要がある場合、C～D の代わりに B の単位で代替することが認められる場合がある。所定の様式により申請し、認められることが必要である。

※別紙リストにない講義も、認定される場合がある。所定の様式により申請し、認められることが必要である。

5. 修了手続き

- (1) 所属する課程を修了する際に、別途指定する様式により修了手続きをすること。
- (2) 手続きを行ったうち修了要件を満たす学生には、研究科長名で修了証を発行する。

6. その他

プログラムから脱退することを希望する場合は、理由を添えて問い合わせ先に連絡すること。ただし、特別入試で入学した学生は、脱退に際して奨学金・奨励費を辞退する必要がある。

7. 問い合わせ先

情報理工学系研究科 情報理工学国際センター

E メール：icist-adm@i.u-tokyo.ac.jp